



AKANE NEWS

大塚あかね後援会

羽村市議会議員 **大塚 あかね** 活動報告

No.31

平成9年4月25日第3種郵便物認可



2014年春号
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
<http://www.dpj.or.jp>

地元で楽しもう! 体験しよう! 「伝統文化」

文化庁事業「伝統文化親子教室」の活用を!

平成26年度予算特別審査委員会が3月14日から18日まで開催され、原案可決となりました。一般会計208億8千万円、特別会計117億3730万円、総額341億3606万円が羽村市の平成26年度予算です。

施策の一つに「伝統文化交流事業」があります。

ゆとろぎの事業のひとつとして、26年度は「風のおわら」「磯節」(茨城県を代表する民謡)の舞台鑑賞や落語、指物の講座などが現在、予定されています。

大塚あかねは「年々、事業が充実していくのはよいこと。けれど、鑑賞したり、受講するだけでは、もったいない。この事業の目的の一つに、子ども達に、伝統文化に関する活動を体験できる機会を提供し、将来にわたって継承し、発展させていくこと、とある。この事業を更に、発展させるために、国の事業を活用して、羽村の子ども達が地元の伝統文化を体験できる取組みを行ってはどうか。」と質問しました。

文化庁の事業で、平成26年度12億円の予算が予定されている「伝統文化親子教室事業」があるのです。勿論、子どもだけの教室事業も認められています。

羽村市の財源を使わず、国の補助金で、羽村の子ども達が地元で地域の民俗芸能、日本舞踊、工芸技術や、華道、茶道などを体験することができるのです。

市が計画している「伝統文化交流事業」に更に深みが増しますね。

「国の事業を取り入れ、子ども達に伝統文化を体験する機会をつくっていく。」と市も実施の検討に入りました。

2020年にはオリンピックが開催され、多くの外国人が東京を訪れます。日本人が日本の伝統文化を知らないことは恥ずかしい事。。。是非とも、地元で伝統文化を楽しみ、学びましょう!



プロフィール

学習院大学法学部政治学科卒業

NTT(株)勤務

営業、広報、秘書を務める

2007年

羽村市議会議員初当選

現在

羽村市議会議員(2期目)

厚生委員会委員長

瑞穂斎場組合議会議長



3月議会一般質問ダイジェスト①

マタニティ・ハラスメント・・・ご存じですか？

働く女性が「妊娠、出産」を理由に職場でうける精神的・肉体的なハラスメントを「マタニティ・ハラスメント」(マタハラ)といいます。

パワハラ、セクハラに並ぶ3大ハラスメントの一つなのです。

連合の調査によると、妊娠経験のある働く女性の4人に一人が「マタハラを体験したことがある」と答えました。

働く女性が安心して子どもを産むことができる街づくりのために、羽村市はどのようにマタハラ対策に取り組んでいくのでしょうか？



大塚 市役所内の職員研修で、マタハラに関する研修は予定されていますか？

市長 ハラスメント全般の研修は行われている。今後、マタハラに関する研修もとりあげていきたい。

大塚 働く女性から、行政が「マタハラ」に関する手引きやパンフレットを作成してほしい、という声があります。作成してみてもいいでしょうか？

市長 父親ハンドブックや両親学級などでマタハラに関して広報・啓発していきたい。

大塚 独身の方や、ある程度、年齢のいかれた方は両親学級には参加しませんし、父親ハンドブックも手に取ることはありません。積極的な周知、啓発は必要です。

羽村市男女共同参画基本計画に「マタハラ対策」を取り入れて、市として働く女性が安心して子供を産める街づくりを更に進めていくべきではないでしょうか。

市長 審議会に検討を依頼し、計画に取り入れていきたい。

妊娠にともなう様々な症状は個人差もあり、同じ女性であっても配慮は難しいもの。



妊婦が抱える症状を知り、体調がすぐれないとき周囲がどのように気遣い、対応すべきか、男女ともに学ぶ機会をつくる必要もありますね。働く女性が安心して子どもを産むことができる街づくりのために、これからも大塚あかねは頑張ります！

3月議会一般質問ダイジェスト②

高齢者の味方！ 「地域包括支援センター」

地域包括支援センターをご存知ですか？市民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う機関のことで、現在、羽村市には青梅線以西を受け持つセンターが市役所一階と、青梅線以东を受け持つセンターが富士見平1丁目と2か所あります。

高齢者社会には欠かせない存在です。

大塚 地域包括支援センターの役割を知っていただくには、元気なうちから相談しやすい関係をつくる必要があると思いますが、市の考えは？

市長 広報誌や出前講座、介護認定を受けていない方への基本チェックリストを活用しPRを図っている。

情報提供だけではなく、「顔の見える関係づくり」も大事ではないでしょうか。

例えば、町内会総会や、老人クラブの総会、イベントに担当者が出かけ、センターの活動紹介をするなどして、日頃から顔の見える関係づくりをしていくことも大事、と訴えました。

いざという時に助けてくれる存在の

「地域包括支援センター」。

お気軽に相談してみてください！



3月議会一般質問ダイジェスト③

2月の大雪！被害を受けた農業支援は？

2月に降った大雪。市内産業は勿論、私達の生活にも大きな被害をもたらしました。

とくに、市内農業に与えた被害は甚大。畑への被害は勿論のこと、ビニールハウスの倒壊が24戸の農家で62棟に被害が出ました。

市長からは、「緊急措置的な支援を行う」と答弁を得ることができました。



活動の記録



1月11日

羽村市農産物直売所前にて、恒例の「だるま市」が行われました。



2月15日

何十年ぶりの大雪。ご近所みなさんと、雪かきに大奮闘！近所の「絆」を痛感しました



2月11日

町田市議会議員選挙。森本せいや君を応援



3月21日

有野正治電機連合中央執行委員長から激励

大塚あかね後援会 会員募集中です！！

皆様からのご支援（カンパ）をお願いしております。
大塚あかねの政治活動全般に活用させていただきます。
ご意見、ご要望も下記までご連絡くださいませ。

連絡先

〒205-0015 羽村市羽中2-15-12

<http://www.otsuka-akane.net>

TEL 042-555-5338 FAX 042-555-5338

E-mail : a.k.o@t-net.ne.jp **ブログ毎日更新中！**

にご返信ください！

お名前	(フリガナ) _____	お電話番号	_____
ご住所	〒 _____		
ご意見・ご要望	_____		

★お知り合いのご紹介お願いいたします。